

**Keio Piano Society**  
**第 7 4 回定期演奏会**

**3月17日 すみだトリフォニーホール**

**開場 11:15 開演 11:30**

## 代表者挨拶

皆様こんにちは。本日は慶應ピアノソサイエティー第74回定期演奏会にお越しいただきまして、誠にありがとうございます。無事にこの日を迎えることができ、大変嬉しく思います。同時に、部員、そしてホールの方々、皆様のご協力に大変感謝しております。本演奏会に向けて練習を重ねてきた部員たちの演奏を、お時間の許す限りゆっくりとお楽しみ下さい。

定期演奏会実行委員長 佐藤善彬

## お願い

ホール内での飲食はご遠慮ください。

携帯電話や時計のアラーム機能など、音の出る機器は電源をお切りになるか、マナーモードに設定いただきますようお願いいたします。

演奏中は席をお立ちにならないようお願いいたします。

小さなお子様連れのお客様は、演奏の妨げ、または他のお客様の迷惑になりませぬよう、ご配慮をお願いいたします。

演奏中のフラッシュ撮影や、音の出る機器を用いた撮影はお控えください。

# Program

※それぞれの部の開始時間は前後する場合がございます。開始時間変更の場合は、アナウンスよりお知らせ致しますのでご了承ください。

## 第一部(11:30~12:45)

- |   |  |             |                |
|---|--|-------------|----------------|
| 1 | ピアノソナタ第23番 op.57<br>へ短調「熱情」第1楽章                      | ベートーベン      | 恒成滯            |
| 2 | ピアノソナタ第23番 op.57<br>へ短調「熱情」第3楽章                      | ベートーベン      | 山崎真子           |
| 3 | 平均律クラヴィーア曲集第2巻<br>第10番ホ短調 BWV879<br>エチュードop.25-8 へ短調 | バッハ<br>ショパン | 佐藤優輝           |
| 4 | ソナタK1,K32,K27  | スカルラッティ     | ヴェーア ドミニク ロベルト |
| 5 | スケルツォ第3番 op.39 嬰ハ短調                                  | ショパン        | 岡優里香           |
| 6 | スケルツォ第1番 op.23 へ短調                                   | ショパン        | 佐藤善彬           |
| 7 | ピアノソナタ第29番 op.106<br>変ロ長調「ハンマークラヴィーア」第<br>1楽章        | ベートーベン      | 金村奈緒           |

休憩

## 第二部(12:55~13:50)

- |    |  |        |       |
|----|--|--------|-------|
| 8  | ピアノのためにより プレリユード   | ドビュッシー | 朝倉奈緒子 |
| 9  | ピアノのためにより トッカータ  | ドビュッシー | 生山結芽  |
| 10 | 「砂上の家」より第1番「澄み切った朝の砂丘」   | デュポン   | 川上未知  |
| 11 | 前奏曲集第1集より<br>第3曲「野を渡る風」<br>第4曲「音と香りは夕暮れの大気に漂う」<br>第5曲「アナカプリの丘」<br>第7曲「西風の見たもの」 | ドビュッシー | 佐竹那月  |
| 12 | 喜びの島   | ドビュッシー | 渡邊真之  |
| 13 | フランス組曲 第3番 BWV814  | バッハ    | 時園健   |

休憩

### 第三部(14:00~14:55)

- |    |                                    |          |                              |
|----|------------------------------------|----------|------------------------------|
| 14 | 組曲第2番op.17より 序奏                    | ラフマニノフ   | 林里咲<br>洲合絵里名                 |
| 15 | 6つの小品op.11より<br>第2曲スケルツォ<br>第4曲ワルツ | ラフマニノフ   | 富士ひとみ<br>河野麗                 |
| 16 | ピアノ協奏曲第2番 op.18 ハ短調<br>全楽章         | ラフマニノフ   | 金村奈緒<br>佐藤善彬                 |
| 17 | 日本の歌によるファンタジー                      | ローゼンブラッド | 野仲郁宏<br>山内賢<br>洲合絵里名<br>山内美玲 |

休憩

### 第四部(15:05~16:50)

- |    |                                       |        |      |
|----|---------------------------------------|--------|------|
| 18 | ピアノソナタ第17番 op.31-2 二短調<br>「テンペスト」第3楽章 | ベートーベン | 三宅佑里 |
|----|---------------------------------------|--------|------|

19	平均律クラヴィーア曲集第1巻 第17番変イ長調 BWV862 『ナポリ』より第3曲イタリア奇想曲	バッハ プーランク	富士ひとみ
20	ピアノソナタ第3番 op.58 口短調第 4楽章	ショパン	林勇利
21	Bohemian Rhapsody	Freddie Mercury, arranged by Jarrod Radnich	トミー オズボーン
22	前奏曲no.3, op.10 《「時化」よりパラフレーズ》 前奏曲no. 4, op.11 《夢想》	入江誠志郎	入江誠志郎
23	ポロネーズ第6番 op.53 変イ長調 「英雄」	ショパン	山内賢
24	バラード第4番 op.52 へ短調	ショパン	洲合絵里名
25	ピアノソナタ第23番 へ短調 op.57 「熱情」全楽章	ベートーベン	坂田梓
26	ピアノ協奏曲第2番 ト短調 op.22 第1楽章 (ビゼー編曲によるソロ版)	サン＝サーンス	山内美玲

## Program Notes

### 第一部(11:30~12:45)

1 ピアノソナタ第23番 op.57 へ短調「熱情」第1楽章 ベートーベン

恒成滯 慶應義塾大学法学部法律学科1年

前回の定演ではベートーヴェンのポロネーズ5番を弾きました。今回はちゃんとしたベートーヴェンを弾きます。

2 ピアノソナタ第23番 op.57 へ短調「熱情」第3楽章 ベートーベン

山崎真子 慶應義塾大学法学部政治学科4年

こんにちは、未だ懲りずにベートーベンを弾く山崎です。ついこの間入学したような気がして、KPSでの4年間も本当に早かったなあと感じています。社会人になると今回の曲のような気力・体力をガンガン消耗するようなものはもう練習できなくなるかもしれないと思うと余計に感慨深いです。今日は2015年の新人演からの多少の成長を示したいと思います。

3 平均律クラヴィーア曲集第2巻第10番 ホ短調 BWV879 バッハ

エチュードop.25-8 へ短調 ショパン

佐藤優輝 慶應義塾大学工学部1年

バッハの平均律2巻第10番とショパンの6度のためのエチュードを演奏します。お楽しみ下さい。

4 ソナタK1, K32, K27 スカルラッティ

ヴェーア ドミニク ロベルト 留学生

同年にJ.S.バッハ、ヘンデルのバロック時代の代表的作曲家が生まれているが、スカルラッティもその時代の鍵盤曲に新しい用法を取り入れた重要な作曲家である。

5 スケルツォ第3番 op.39 嬰ハ短調 ショパン

岡優里香 慶應義塾大学法学部法律学科1年

12月の定期演奏会と同じ曲を演奏します。3日前にようやく誕生日を迎えた私は果たして1歳分大人な演奏ができるのでしょうか。

## 6 スケルツォ第1番 op.23 ヘ短調 ショパン

佐藤善彬 慶應義塾大学工学部1年

今回弾くスケルツォ1番は、ショパンがポーランドを離れウィーンに滞在している時に作曲された曲です。ポーランドを去った直後、故郷ワルシャワではロシアからの独立を目的とする市民反乱が起きました。

同時期に作られた曲としてショパンエチュード「革命」が代表的ですが、その曲と合わせてショパンの不安、焦り、悲しみなどを巧みに表現した曲と言えるでしょう。

初めの高音から低音にかけての不協和音から始まり、その後ショパンの内なる感情を爆発させたような動的なフレーズが幾度となく繰り返されます。

その後訪れる静寂、これはショパンが幼少期ワルシャワで聞かされた子守唄や、地元の人々の温かみを思い出し、一時の安堵を感じている場面です。

しかし、その安心も束の間、また冒頭の不協和音を持ってショパンの感じた安らぎは無残にも切り裂かれてしまいます。

## 7 ピアノソナタ第29番 op.106 変口長調 「ハンマークラヴィーア」 第1楽章 ベートーベン

金村奈緒 慶應義塾大学工学部1年

このピアノソナタはベートーヴェンのピアノソナタの中で外観と内容の両方の面で見ても大きなソナタです。後期ソナタなのにこのタイミングでめっちゃ大規模やん...って思うんですけど、そういうところがとても好きですね(笑)ベートーヴェンはこの曲を作曲した時にロンドンのピアノ製造者ブロードウッドからピアノをもらって、こんな大きな曲を作ったそうです。私もピアノを贈られるような人になりたいです。(たぶん無理)

曲中では、表現でピアノという楽器の限界を超えようとしていて、演奏技術はもちろん、この曲の深い内容を捉えるのはとても難しいです。私も実際弾くにあたって何度も何度も試行錯誤を繰り返しています(あえて現在進行形にしました())全楽章通すととても変化があって面白いのですが、全楽章演奏すると40分くらいかかってしまうので今日は1楽章だけ演奏します。(そもそも1楽章しか弾けないんですけども.....)1楽章だけですが私なりにまとめてみました。未熟な演奏ではあるかと思いますが...頑張ります!

## 第二部(12:55~13:50)

## 8 ピアノのためにより プレリュード ドビュッシー

朝倉 奈緒子 慶應義塾大学商学部商学科4

年

今回の曲はベルガマスク組曲の前奏曲ではありません。ピアノのためにの前奏曲です。

リズムがはっきりしていて、今まで弾いてきた中で1番音の幅が広い曲だと思います。

是非、大学生活最後の演奏をお聴きください。

## 9 ピアノのためにより トッカータ ドビュッシー

生山結芽 慶應義塾大学 文学部 人文社会学科 1年

ピアノスティックな曲ですが、古典的な構成感があり、東洋風な旋律が美しく、私の大好きな曲です。



10 「砂上の家」より 第1番 「澄み切った朝の砂丘」 デュポン

川上未知 慶應義塾大学薬学部薬学科3年

12定で弾いたデュポンの別の曲集から、今回もまた1曲弾かせていただきます。旅立ちっぽい曲を弾きたいなと漠然と思い選びました。

人より遅れて大学に入り、体力も何もかも自信のないまま、東京砂漠に放り出されたなかでKPSは家のような存在であったのは間違いありません。

そして次の家への歩き方を教えてくれた場所でもあったように思います。そのようなことを思いつつ、感謝と敬意を込めて演奏したいです。

11 前奏曲集 第1集より 第3曲 「野を渡る風」

第4曲 「音と香りは夕暮れの大きに漂う」

第5曲 「アナカプリの丘」

第7曲 「西風の見たもの」

ドビュッシー

佐竹那月 慶應義塾大学文学部人文社会学科3年

ドビュッシーの《前奏曲集》は、私の大好きな曲で、ずっと弾きたかった曲です。テクニク的に苦勞した所もたくさんありますが、今日は楽しんで演奏したいと思います。

12 喜びの島 ドビュッシー

渡邊真之 慶應義塾大学経済学部経済学科4年

喜びの島は20世紀初頭に、ドビュッシーによって作曲されました。私がこの曲を知ったのは中学生の時でした。初めて挑戦した時は、技術面や表現力など、あらゆる面で力不足を感じ、それから永い間この曲に触れることなく過ごしてきました。しかし挫折したこの曲を弾いてみたい、という曖昧ながらも目標を持ったことで、大学でもピアノを続けることが出来ました。

当時のドビュッシーには相当に濃厚な人付き合いがあり、この曲にも様々な心情や表現が散りばめられています。今までのピアノの集大成として、精一杯表現出来るよう頑張ります。

13 フランス組曲 第3番 BWV814 バッハ

時園健 慶應義塾大学商学部2年

バッハ自身は単に「組曲」として名付けたがいつのまにか「フランス組曲」と呼ばれるようになったという。

フランス組曲の第3番は示唆に富むアルマンド、最初に提示されたリズムが淀みなく登場し複雑に絡み合うクーラント、広々とした音型が特徴的なサラバンド、音の揺らぎが特徴的なメヌエット、狭い音域に固まっていた音型がやがて広がるアングレーズ、二つの声部で作曲され調性が目まぐるしく変わるジグで構成される。

一つ一つの舞曲の完成度も大変高くまた非常に上手くまとまっている。バッハと同時期に活躍したフランス・バロック音楽の大家のラモンの影響も受けたであろう変幻自在で高貴な音楽を少しでも表現できればと思う。

### 第三部(14:00~14:55)

14 組曲第2番 op.17より序奏 ラフマニノフ

林里咲 慶應法学部法律学科4

年

洲合絵里名 洗足学園音楽大学音楽学部4年

「音大生から誘っていただけて光荣です♡笑笑」(林)

「レアキャラ里咲ちゃんと弾ける...嬉しい!! ありがとう~~♡」(洲合)

頑張ります♡♡♡

15 6つの小品 op.11より 第2曲 スケルツォ 第4曲 ワルツ ラフマニノフ

富士 ひとみ 慶應義塾大学文学部2年

河野麗 慶應義塾大学工学部2年

ラフマニノフは1894年、演奏旅行のためにこの連作曲集を作曲しました。当時21歳だったラフマニノフはピアニストとして、また歌劇「アレコ」で作曲家としても成功を納めていました。

曲中にロシアの民族的な音楽を感じられる旋律が多数登場しますが、こうした主題はベートーヴェンの弦楽四重奏やムソルグスキーの楽曲にも活かされているそうです。

今回は全6曲のうち第2曲「スケルツォ」と第4曲「ワルツ」を演奏いたします。最後までごゆっくりお楽しみください。

16 ピアノ協奏曲第2番 op.18 ハ短調 全楽章 ラフマニノフ

金村奈緒 慶應義塾大学工学部1年

佐藤善彬 慶應義塾大学工学部1年

N「い...言っておきますけど、私は私なりの演奏をしますから！」

Y「当たり前でしょ、そんなコト」

N「はあ!? だって「もだえろ」だの「色気だせ」だのさんざん...」

Y「あーそれはもういいデス。もう十分...」

N「？」

Y「さて、私達も頑張って2年生謳歌しなきゃネ...これで二外ともしばらくお別れですから(理工事情)」

さあ、行きますか...

楽しい音楽の時間デス

17 日本の歌によるファンタジー ローゼンブラッド

野仲郁宏 慶應義塾大学経済学部経済学科4年  
山内賢 慶應義塾大学理工学部4年  
洲合絵里名 洗足音楽大学音楽学部4年  
山内美玲 慶應義塾大学法学部法律学科4年

今回初めてこの4人で演奏させていただきます。

皆の癒し清楚系女子大生美玲ちゃん

長い髪の不思議音大生えりなちゃん

来年から気象予報士として長崎の顔となる赤鼻ふみくん

そして、そう、僕です。

28期定実の(多分)仲良い4人での最初で最後の演奏です。頑張ります。

※変な響きが聴こえたらそれはローゼンブラッドのオシャレ如山内のミスタッチです。ご了承下さい。

山内賢

## 第四部(15:05~16:50)

18 ピアノソナタ第17番 op.31-2 二短調 「テンペスト」 第3楽章 ベートーベン

三宅佑里 慶應義塾大学理工学部1年

昔からずっと好きだったこの曲を今回みなさんの前で演奏できるのがとても嬉しいです。緊張していますが、みなさんの心に響くテンペストをお届けできたらと思います。

19 平均律クラヴィーア曲集第1巻第17番 変イ長調 BWV862 バッハ

『ナポリ』より第3曲 イタリア奇想曲 プーランク

富士ひとみ 慶應義塾大学文学部2

年

激しい近現代の曲を選びがちなのですが、原点に立ち返ろうとの思いからバッハにトライします。プレリュードは軽やかかつ優雅に、フーガは教会に響くオルガンの音色を想像して、心を込めて演奏します。

『ナポリ』は作曲者のイタリア旅行を機に書かれたという、3曲から成る組曲です。この「イタリア奇想曲」は、ヴィルトゾ風の華やかで陽気な性格に満ちていますが、中間部には甘く切ないメロディーが折り込まれており、気まぐれな曲想転換が魅力です。まさに先月訪れたイタリアの空気感を伝えるスクラップブックのような演奏にできればと思います。

20 ピアノソナタ第3番 op.58 口短調 第4楽章 ショパン

林勇利 慶應義塾大学商学部3年

ショパンは生涯に3曲のピアノソナタを作りました。第1番は習作の域を出ないとの評価ですが、円熟期の1844年に作曲されたピアノソナタ第3番は、1839年に作曲された第2番と共に、傑作の中の頂点と位置付けられています。第2番と比べ、楽曲の規模も大きいだけでなく、有機的統一性も見られる第3番。今回はその中から第4楽章を演奏したいと思います。

第4楽章は典型的なロンド形式の、力強く情熱的なフィナーレです。主題が再現されるごとに左手の伴奏が早められていき、最後のコーダでは素晴らしい盛り上がりとなります。

技術的に大変難しい曲ですが、この曲の良さを少しでも伝えられる様、楽しんで弾くので、頑張っ聴いてください笑笑

2 2 前奏曲no.3, op.10 《「時化」よりパラフレーズ》

前奏曲no. 4, op.11 《夢想》

入江誠志郎

入江誠志郎 慶應義塾大学経済学部2年

●前奏曲no.3, op.10

《「時化」よりパラフレーズ》

作曲を始めて以来、最初に自作自演したセミクラシック曲が「時化」(violin&piano)であり、当時桐朋学園のヴァイオリニストと共演を果たしました。今回の3定では、特にその中間部分を取り出し、ソロピアノ版にパラフレーズした形となっております。どちらかというとな旋律優位な曲です。

●前奏曲no. 4, op.11

《夢想》

なかなか曲名が決まらずまさかの題名公募を試みてしまいました…。結果様々な案を頂いた中で、どの題名も「その人の記憶の中の1シーンを思い描いている」という点が共通していた為、このような題名となりました。形式は三部形式で、シンコペーションのリズムが一貫して用いられております。

拙い演奏ですが、拙作が少しでも皆様方の心に響くよう精一杯演奏致しますので、どうぞお聴き下さい！

2 3 ポロネーズ 第6番 op.53 変イ長調 「英雄」 ショパン

山内賢 慶應義塾大学工学部4年

この曲は自分が高校生の頃から憧れていて、死ぬまでには弾けるようになりたいと思っていた曲です。今の自分が弾くにはまだ身の丈が合っていないのは百も承知です……。しかし、大学最後の舞台という折角の機会ですので、精一杯演奏させていただきたいと思います。

最終部的一幕としてはお見苦しい演奏になるかもしれませんが、温かい心で聴いていただけると幸いです。

今回は最後の演奏会で、せっかくなのでこのコメント欄ももう少し使ってみようかと思っております(^\_^;;

このKPSというサークルは、大学生活の中で自分にとってとても大きな存在でした。

信頼できる楽しい仲間巡り会い、一年生の頃から総務、定実など色々な職にも就かせていただき、素晴らしい経験をさせていただきました。優しい先輩方にも恵まれ、親友もでき、彼女さんもできちゃいました。

色々大変な事もありましたが、今ではその全部が良い思い出です。

人見知りでありあまり気の合う知り合いが出来ない自分が、こんなに楽しくサークルで過ごせたのは、やはり周りの皆の支えが大きかったんだなあと思つづく思います。特に28期の皆には、感謝しかありません。

自分を支えてくれた同期の皆、自分をこのサークルに誘って下さり色々とお世話になった先輩方、これからのKPSをつくっていく後輩達。

今までありがとうございました。

楽しかったです。

#### 24 バラード 第4番 op.52 へ短調 ショパン

洲合絵里名 洗足学園音楽大学音楽学部4年

KPSの定期演奏会で初めて弾いた曲がショパンのバラード2番だったため、今回は4番を弾くことにしました。最後の定演だと思うと、とても寂しいです...

KPSで過ごした4年間はとても楽しかったです。

三田祭に参加したこと、定期演奏会実行委員の一員となって一緒に仕事したこと、皆とアンサンブル出来たこと、合宿に行ったこと...全部懐かしいです！

何より、28期のみんなが、他大生である私と仲良くしてくれたこと、本当に嬉しかったです。ありがとう。

今日は、聴きに来てくださった方と、KPSへの感謝を込めて演奏します。

#### 25 ピアノソナタ第23番 へ短調 op.57「熱情」全楽章 ベートーベン

坂田梓 慶應義塾大学理工学部数理科学科2年

3/10に人生の分岐点を迎える私は、演奏会当日にどういう気持ちで弾いているかわかりませんが、挑戦した日々をこの曲に込めて演奏させていただきます。

#### 26 ピアノ協奏曲 第2番 ト短調 op.22 第1楽章(ビゼー編曲によるソロ) サン＝サーンス

山内美玲 慶應義塾大学法学部法律学科4年

この曲は、1868年にわずか17日間で作曲されたといわれています。サン＝サーンス自身によるピアノ、アルトゥール・ルービンシュタインによる指揮によって、パリで初演されました。

第1楽章は、叙情的な第一主題が印象深く、その後は華やかに曲が進行していきます。

KPS最後の演奏会ということで、かなり思い切った選曲をしてしまいました。感謝の気持ちを込めながら、精一杯演奏したいと思います。

